

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第一小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	校長の「目指す学校像」の実現に向けて、教職員一丸となって取り組んでいる。学校評価では自己評価と合わせて、「意見・改善案」を年2回集計し、教育課程を改善することで、組織的に良い学校づくりに努めている。今年度は、感染症対策のため、学校行事の変更がかなりあったものの、学校運営委員会を開き、全体で共通理解を図ることで、組織的に取り組むことができた。	A	校長の目指す学校像が明確であり、教頭をはじめ、職員との連携が取れている。様々な行事についてもコロナ禍の状況変化がある中で組織的な対応ができています。休校措置のため遅れていたカリキュラムは無理のないペースで遅れを取り戻し、順調に進められている。運動会は感染症対策もしっかりされ、内容もいつも以上によいと感じた。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	児童への質問紙調査から、「学校では安全に気を付けて過ごしていますか。」ではあてはまるが90%以上であった。日々の児童への指導が生きている。いじめについては、日頃の観察だけではなく、定期的に紙面調査を行っており、早期発見・再発防止等に取り組んでいる。学校の施設・設備については、老朽化しているところがあるため、定期的に点検し、逐一修繕を行っている。	A	感染症に対する偏見もなく、落ち着いて過ごしている。予告なしの避難訓練等今後も継続して取り組んでいる。掲示物等わかりやすく、子どもも理解をしている。学級経営のきめ細かな指導と一人ひとりに寄り添う指導を継続していただきたい。設備の老朽化については計画的な修繕をお願いします。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	埼玉県学力・学習状況調査では、県平均と比べると上回っている学年・教科が多い。児童への紙面調査では、「勉強はよくわかる。」と答えている児童は90%以上である。児童の学力をさらに向上させるために、児童の実態を把握し、個に応じた指導も、継続して取り組んでいく。	A	校内掲示物や学力・学習状況調査の結果の通り、基礎学力は定着してきていると感じる。これに安心することなくさらに向上を図ってほしい。宿題等のチェックもしっかりしており、教職員の意識は高い。その中でも学習に課題を抱えている児童もいるので、しっかりと実態把握をし対応をお願いします。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	学力向上プランの中で、各教科毎に授業改善の手立てを作成している。毎学期、各教員で授業を振り返り・全体共有をすることで、授業力向上に努めている。ノートスタンダード等、学校で統一したノート指導を作成し、組織的に取り組んでいる。授業だけでなく、休み時間に学習教室を実施し、学年の実態から課題を設定し、基礎学力の向上を目指している。	A	現代において活用できる機器を効果的に利用し、学力向上を充実させている。課題のある児童に対してもフォローがしっかりしている。苦手なことも、少しずつできるようになっていると感じる。組織的な授業改善と児童の習熟度・理解度に応じた指導をお願いいたします。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	学校では、「学習のきまり」「みんなのやくそく」等、ルールを定め組織的に指導を行っている。児童の紙面調査からも決まりを守っていると90%以上が答えている。あいさつや廊下歩行等、課題もあるが、全体で声かけし、改善に努めている。	A	校舎ですれ違った際にはしっかりと挨拶をする児童が増えており、指導の効果を感じる。夕焼けチャイム後も遊ぶ児童がいなくなった。登下校においてはルールを守り、上級生は下級生の面倒を見ている姿に頼もしさを感じる。挨拶については差が大きく、学校全体でできるように継続して指導をお願いします。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	毎月生徒指導で集まり児童の様子等を情報交換をし、課題がある場合は、全体で指導し柔軟・迅速に対応している。いじめを全体にしないという気持ちを醸成するために、各クラスで「いじめ防止標語」を作成して掲示し、啓発に努めている。	A	学校の指導が効果を出している。校内の掲示物等、情報発信が工夫されていると感じる。学校や学級の目標が周知され、学習面でも規律面でも、守るべき規範が身に付いている。これからも継続した指導をお願いします。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	子ども達への紙面調査では、「休み時間に外で元気に遊んでいる」と答えた児童は82%であり、意欲的に外遊びをしている。休み時間には、学級でレク遊びをする児童や、一緒に外で遊ぶ教員の姿を多く見ることができる。授業においては、「体育の授業流れ」を学校全体で確認し、規律を守りながら意欲的に学習に取り組んでいる。	A	日常を見ているとよく運動していると感じている。学級レクも多いようで、楽しみながら外で遊ぶ習慣が身に付いている。教員と一緒に遊んでいる学級もあり、児童も喜んでいる。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	体育部を中心として、学年での連携を図った体育授業の実践、運動会等の体育行事、休み時間の各種運動教室等、様々な運動を行っている。今年度は、密を避けるため朝マラソン等、例年通り行えなかったが、ストレッチタイムや、朝一小オリンピックなど、取り組み方を工夫し、体力向上に努めている。	A	今年度は体力テストがなく、児童も目標を持ちづらかったように思う。この状況で体力を落とさない対応ができています。朝マラソンや体育行事をできる形で取り組んでおり、体力を高めるための工夫が見られる。体力アップカードについては、一生懸命取り組んでいるものの、さらに積極的に取り組む工夫をお願いします。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	学校だよりや学年だより等活用し、地域や保護者等に学校の様子を伝えている。保護者への紙面調査でも連携をとれているが90%以上となっている。1月には、HPもリニューアルし、定期的に情報を更新し学校の様子を伝えていく。	A	学校だよりにより学校生活が地域にも伝わり、児童への支援に関わることができる。例年実施している行事ができなかったが、読み聞かせやミン教室等できる範囲で行っている。町内会も行事が沢山あるため、黒目川掃除や盆踊り体育祭等行事への参加をお願いします。アンケートなどを活用し、課題に対して連携して対応をお願いします。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	保護者や地域は、学校や児童育成にとっても協力的である。運動会のお手伝いや除草作業、読み聞かせや授業支援、校外学習の付き添い等、PTAやなでしこ応援隊を中心に協力的である。今後も学校・家庭・地域が一体となって児童の育成を図っていく。	A	PTAやなでしこ応援隊などによる活動で学校と保護者・地域との連携が取れている。子供たちが安心・安全に学ぶ事ができるように地域でもさらに学校と協力していきたい。通学班等、調整が必要なところは丁寧な対応をお願いします。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満